



春が待ち遠しい… トマトの育て方

(1) 生育に適した環境

トマトはナス科の野菜で、原産地はアンデス山脈です。生育適温は24℃～30℃で、pH 6.0～6.5の壤土を好みます。

(2) 定植準備 (4月上旬～4月中旬) と定植 (4月下旬～5月上旬)

定植2週間前に、1㎡当たり苦土石灰100gを散布しよく耕します。1週間前に1㎡当たりの肥2kg、化成肥料(8-8-8) 120g、過磷酸石灰40g程度施用し、土とよく混ぜて畝立てをします。

畝幅は90cm、株間40cm。植付け前は苗ポットに、植付け後も十分にかん水します。支柱を立て、苗と支柱を8の字結びでゆったり固定します。



第一花房と同じ方向に花房がつくので、通路側に向け植え付けると収穫がしやすくなります。

(3) かん水

第三花房開花までは、かん水を抑え気味にします。第四花房以降は、施肥と併せて養水分を十分に与えます。

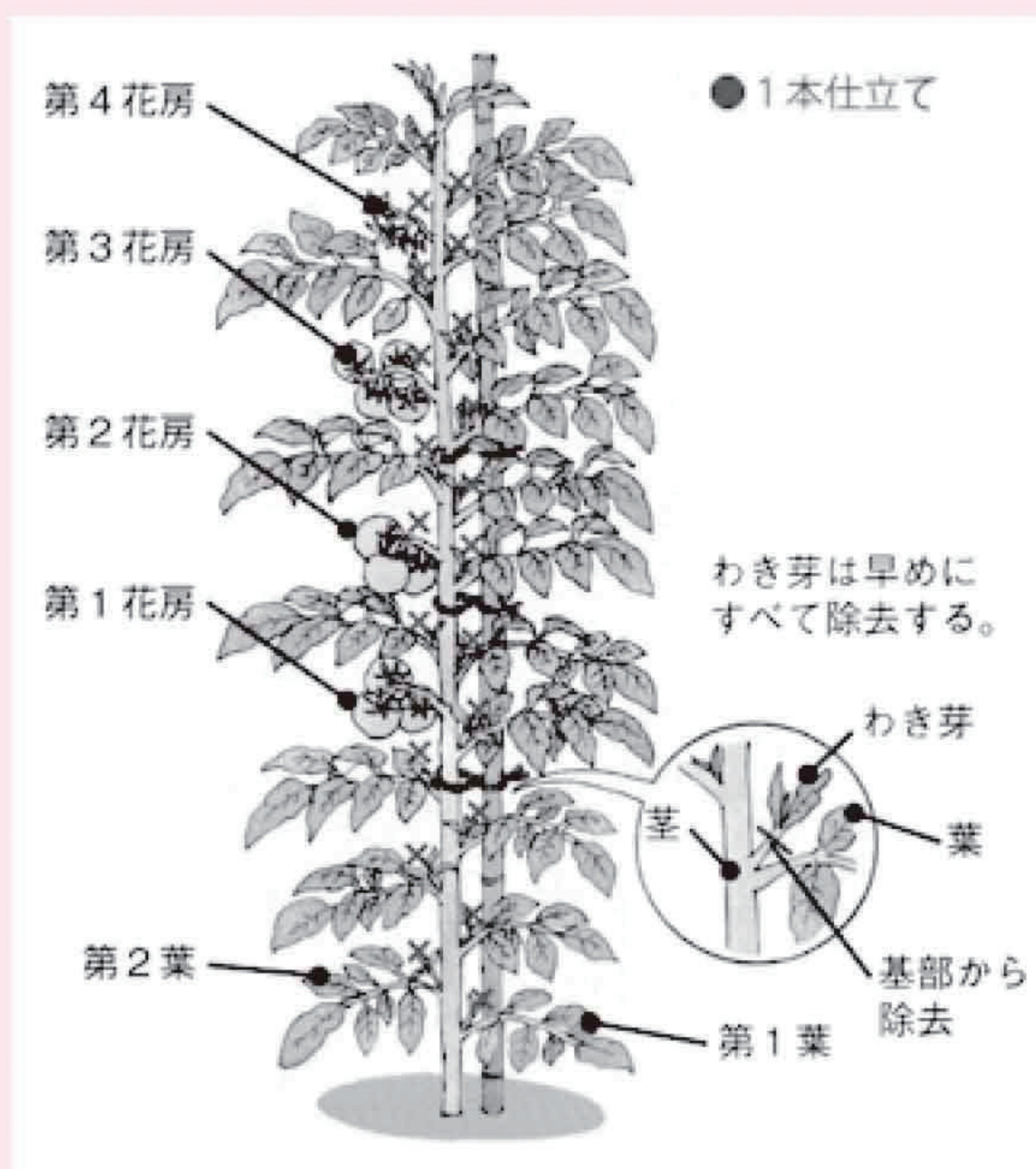
(4) 追肥

一回目

第一花房の果実がピンポン玉くらいになった頃、1㎡当たり化成肥料30g程度を株間に追肥します。

二回目

第四花房以降の開花に併せて、1㎡当たり化成肥料30g程度畝肩に追肥します。



(5) 誘引・わき芽かき・摘果等

1本仕立てでわき芽は5cm位までに取り除き誘引します。第一花房3果、第二花房以降は4果に摘果すると玉ぞろいがよくなります。主枝は6段程度の上2葉残して摘心します。



着果・結実をよくするため、トマトトーン(50～100倍液)を成長点にかからないよう花房全体に一回噴霧します。

(6) 収穫 (7月上旬～8月下旬)

鮮度維持のため、果実温が低い午前中に収穫します。適期収穫に努めましょう。

(文責 金沢農業大学校長 大藏 捷直)

「先進農家視察研修」



金沢農業大学校では、視察研修を行い、先進農家からICTによる栽培や経営戦略等を学びました。